

日本語学会第 145 回大会 プログラム

会 長 梶 茂樹
大会運営委員長 藤代 節
大会実行委員長 久保 智之

期 日：2012年11月24日（土）、11月25日（日）
会 場：九州大学(箱崎キャンパス)（〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-19-1）

Tel：092-642-2415 FAX：092-642-2415（「言語学会大会実行委員長」宛）
E-mail：akinotaikai@gmail.com

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。
※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

.....

— 第 1 日（11 月 24 日） —

10:30-12:30	評議員会（評議員の方はご出席下さい。）	文学部棟 4 階会議室
12:00-	受付・大会予稿集販売	共通講義棟前（1 階渡り廊下）
13:00-17:20	口頭発表（詳細は 2-3 頁にあります。）	共通講義棟 1 階，2 階，3 階
18:30-20:30	懇親会	市内・天神（会場詳細は 7 頁参照）

— 第 2 日（11 月 25 日） —

9:30-	受付・大会予稿集販売	共通講義棟前（1 階渡り廊下）
10:00-12:00	ワークショップ（詳細は 4 頁にあります。）	共通講義棟 1 階，2 階，3 階
12:00-13:00	ポスター発表（詳細は 5 頁にあります。）	共通講義棟 2 階 206 号室
13:00-13:20	会長挨拶 開催校挨拶（高山倫明 九州大学人文科学研究院長） 日本語学会学会賞授賞式	共通講義棟 2 階 201 号室 （3 階ギャラリー席含む）
13:20-16:40	公開シンポジウム 「文構造はどこまで意味を表しているのか」 司会・企画説明 田窪 行則（京都大学） 「日本語モーダル述語文における構造と意味の対応とズレ」 竹沢 幸一（筑波大学） 「統語意味論：構造と意味の対応とズレ」 上山 あゆみ（九州大学） 「述語の格体制からみた構造と意味の対応とズレ」 定延 利之（神戸大学）	共通講義棟 2 階 201 号室 （3 階ギャラリー席含む）

※ 公開シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

口頭発表 (11月24日(土) 13:00-17:20)

	A会場 (102号室) 司会:(前半)玉岡 賀津雄, 窪菌 晴夫 (後半)本間 猛	B会場 (103号室) 司会:(前半)箕浦 信勝, 下地 理則 (後半)米田 信子
13:00-13:30	[A-1] 朴 備徑, 小泉 政利 形容詞の獲得における事物の典型的な属性と非典型的な属性の区別	[B-1] 加納 満 スリランカ手話における過去テンス表示
13:35-14:05	[A-2] 山腰 京子, 三浦 香織, 山崎 香緒里 日本語を母語とする子供の語彙使役と統語使役の習得について	[B-2] 原田 なをみ, 高山 智恵子 日本手話の達成動詞の完了表現に関する一考察
14:15-14:45	[A-3] 大沼 仁美 母音に関する音韻素性間の非対称性	[B-3] 當山 奈那 沖縄首里方言の他動詞派生接尾辞と使役動詞派生接尾辞
14:50-15:20	[A-4] LIU Sha The role of “basic variant” in subsidiary stress assignment for words with variant stress patterns	[B-4] 原田 走一郎 南琉球八重山黒島方言における主題標識の二重使用の機能について
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	[A-5] 橋本 大樹 単純語を基体として持つ短縮語形成と韻律構造	[B-5] 黒木 邦彦 上甕島瀬上方言における清濁の対立
16:15-16:45	[A-6] 那須川 訓也, 八杉 佳穂, 小泉 政利 カクチケル語における韻律境界標識と音韻構造	[B-6] 平子 達也 石川県七尾市能登島島別所方言の句音調に関する考察
16:50-17:20	[A-7] 桑本 裕二 英語における頭子音結合の序列と聞こえ度階層の相関について	[B-7] 平田 秀 三重県尾鷲市方言の後部3拍複合名詞アクセントについて

	C会場 (104号室) 司会:(前半)片桐 真澄, 松岡 雄太 (後半)河内 一博	D会場 (202号室) 司会:(前半)斎藤 倫明, 板橋 義三 (後半)酒井 弘
13:00-13:30	[C-1] 石塚 政行 バスク語レクンベリ方言の再帰所有形と主語	[D-1] 高橋 靖以 アイヌ語十勝方言における証拠性と叙述類型
13:35-14:05	[C-2] 長屋 尚典 タガログ語の相互構文	[D-2] 狩俣 繁久 琉球宮古島野原方言の間接的エヴィデンシャルティ
14:15-14:45	[C-3] 児倉 徳和 シベ語の動詞 o-「なる」の語用論的機能	[D-3] Chun Hong PARK On a Korean evidential marker <i>-te-</i> in monologue-interrogatives (A comparison with <i>'-tela / -tenka'</i>)
14:50-15:20	[C-4] 江畑 冬生 サハ語(ヤクート語)の勧誘形における「双数」の解釈	[D-4] 和田 学 韓国語の複雑述語とモジュール形態論
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	[C-5] Einar Andreas HELGASON Event structure and agreement violations in Icelandic resultatives	[D-5] 游 韋倫 日中両言語の擬音語の意味的特定性 —音の発生源を中心に—
16:15-16:45	[C-6] Ksenia GOTO Words <i>Čelovek</i> ‘Man’ and <i>Štuka</i> ‘Item’ as Numeral Classifiers in Russian	[D-6] 翟 勇, 備瀬 優, 坂本 勉 中国語関係節の処理過程についての再検討
16:50-17:20	[C-7] 大西 耕二 マヤ語の台湾先住民(高砂族)語群からの起源	[D-7] Rika YAMASHITA Stylised South Asian Japanese: a contact variety in the Japanese language

	E会場 (203号室) 司会：(前半)漆原 朗子, 岡 俊房 (後半)宮本 陽一	F会場 (204号室) 司会：(前半)遠藤 喜雄, 毛利 史生 (後半)田中 裕幸
13:00-13:30	[E-1] 藤井 友比呂, 瀧田 健介 理由副詞類の生成位置とコントロール節の修飾について	[F-1] 山田 敏幸 日本語の多重主語構文に対するカートグラフィーの観点からの分析
13:35-14:05	[E-2] 後藤 亘 併合とラベル付けを巡る覚え書き	[F-2] Hajime TAKEUCHI Feature Transmission and Long Distance Agreement in Japanese and Tsez
14:15-14:45	[E-3] 西前 明 英語の演算子不定詞節について	[F-3] 山本 将司 ドイツ語の優位効果消失の条件であるスクランプリング移動
14:50-15:20	[E-4] 木村 宣美 右枝節点繰上げ：削除分析と多重支配分析	[F-4] 谷川 晋一 素性継承からの倒置への接近
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	[E-5] 水口 学 日本語の主語位置—優位性効果からの考察—	[F-5] Lina BAO, Megumi HASEBE, Hideki MAKI On the distribution of the reflexive pronoun <i>yen/ban</i> in modern Mongolian
16:15-16:45	[E-6] Kunio KINJO Dative Subject and Nominative Object Constructions in Naha Ryukyuan	[F-6] Hideki MAKI, Dónall P. Ó BAOILL The genitive case in modern Ulster Irish
16:50-17:20	[E-7] 郭 楊 中国語の遊離数量詞構文の構造	[F-7] Megumi HASEBE, Hideki MAKI Another instance of idiolectal variations in modern Japanese: Long distance genitive case licensing

	G会場 (301号室) 司会：(前半)桐生 和幸, 入江浩司 (後半)児玉 望	H会場 (302号室) 司会：(前半)芝垣 亮介, 青木 博史 (後半)江口 正
13:00-13:30	[G-1] 西垣内 泰介, 阿部 雄一郎, 日高 俊夫 「自己」動詞構文の構造と意味—再帰性と分離不可能所有構文—	[H-1] 工藤 和也 語彙的多義性と項の具現化
13:35-14:05	[G-2] Hiroki KOGA Negative forms with the thematically-adjusted affixal stem /raN/	[H-2] 平川 八尋 「青い目をしている」文の拘束主題分析
14:15-14:45	[G-3] Makiko MUKAI Linking Morpheme in Recursive Compounds	[H-3] 勝又 隆 古代日本語における係助詞ソ(ゾ)の出現傾向について
14:50-15:20	[G-4] 田中 俊也 ゲルマン語強変化動詞および過去現在動詞IV, V類に見られる形態的差異について: Schumacher (2005) 論考の批判的考察と形態的混交説からの提案	[H-4] 張 楚榮 限界性 (Telicity) —日本語における動詞・名詞間の相互作用に関する考察
15:20-15:40	(休憩)	(休憩)
15:40-16:10	[G-5] 伊藤 雄馬 ムラブリ語における1.5音節語の膨張	[H-5] 由本 陽子 日本語語彙的複合動詞の生産性と二つの動詞の意味関係
16:15-16:45	[G-6] 植田 尚樹 モンゴル語の母音調和—外来語を用いた分析—	[H-6] 陳 奕廷 フレームに基づく日本語のV+V型複合動詞の意味形成
16:50-17:20	[G-7] 荒川 慎太郎 西夏語の否定接頭辞の音変化について	[H-7] 日高 俊夫, 新井 文人 「V テイク」の意味と派生について

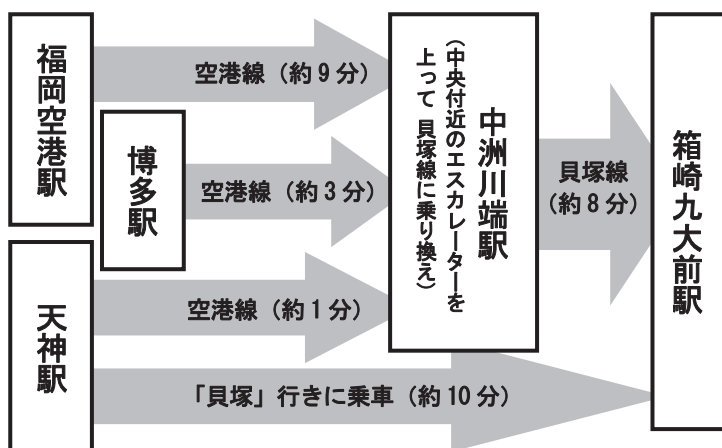
■ワークショップ 11月25日(日) 10:00-12:00

A会場 (102号室)	[W-1] 脳波から観た言語理解研究 企画・司会：坂本 勉 コメンテーター：諏訪園 秀吾
	脳の言語情報処理を診断する—ERP で観る否定極性項目の認可 備瀬 優
	言語要素の統合に関わる ERP 成分「P600」 安永 大地
	ERP から観るオンライン言語理解過程における言語情報間の相互作用について 大石 衡聴
D会場 (202号室)	[W-2] オノマトペと言語理論：統語と意味の接点から 企画・司会：秋田 喜美
	オノマトペの形態統語的実現に関するフレーム意味論的一般化 秋田 喜美
	オノマトペの語彙的特異性と項構造の拡張 臼杵 岳
	役割指示文法における構文：日本語擬態語動詞からの一考察 虎谷 紀世子
	日本語オノマトペの有声／無声の対立における音象徴と他動性 大関 麻衣
E会場 (203号室)	[W-3] スペインの諸言語における借用語 企画・司会：福嶋 教隆
	「西製英語」に関する一考察 福嶋 教隆
	カタロニア語における英語からの借用語について 長谷川 信弥
	ガリシア語におけるカステイーリャ語の借用：語彙面のカステラニスモ 浅香 武和
	バスク語アスペイティア方言における、スペイン語から借用された自動詞と se 動詞の扱いについて 吉田 浩美
F会場 (204号室)	[W-4] 北ヨーロッパおよびバルト海周辺地域の諸言語における逆使役について 企画・司会：佐久間 淳一 コメンテーター：佐々木 冠
	アイスランド語における逆使役 入江 浩司
	リトアニア語における逆使役 櫻井 映子
	フィンランド語における逆使役 佐久間 淳一
G会場 (301号室)	[W-5] アクセント・トーンの中和 企画・司会：窪菌 晴夫 コメンテーター：上野 善道
	鹿児島方言におけるアクセントの中和 窪菌 晴夫
	長崎方言におけるアクセントの中和 松浦 年男
	アクセントの式の中和 —中央式アクセントと垂井式アクセントの中間アクセント— 新田 哲夫, 中井 幸比古
H会場 (302号室)	[W-6] 現代形態理論と日本語の活用における諸問題：音便・不規則形・迂言的活用 企画・司会：田川 拓海
	分散形態論による現代日本語の不規則活用の分析：形態統語環境と異形態 田川 拓海
	寺村秀夫による活用表の再考—「タ系語尾」の位置づけについて 大島 デイヴィッド 義和
	膠着型言語の屈折形態論と Word Grammar 吉村 大樹
	迂言的活用形から見る日本語動詞形態のパラダイム基盤分析 乙黒 亮

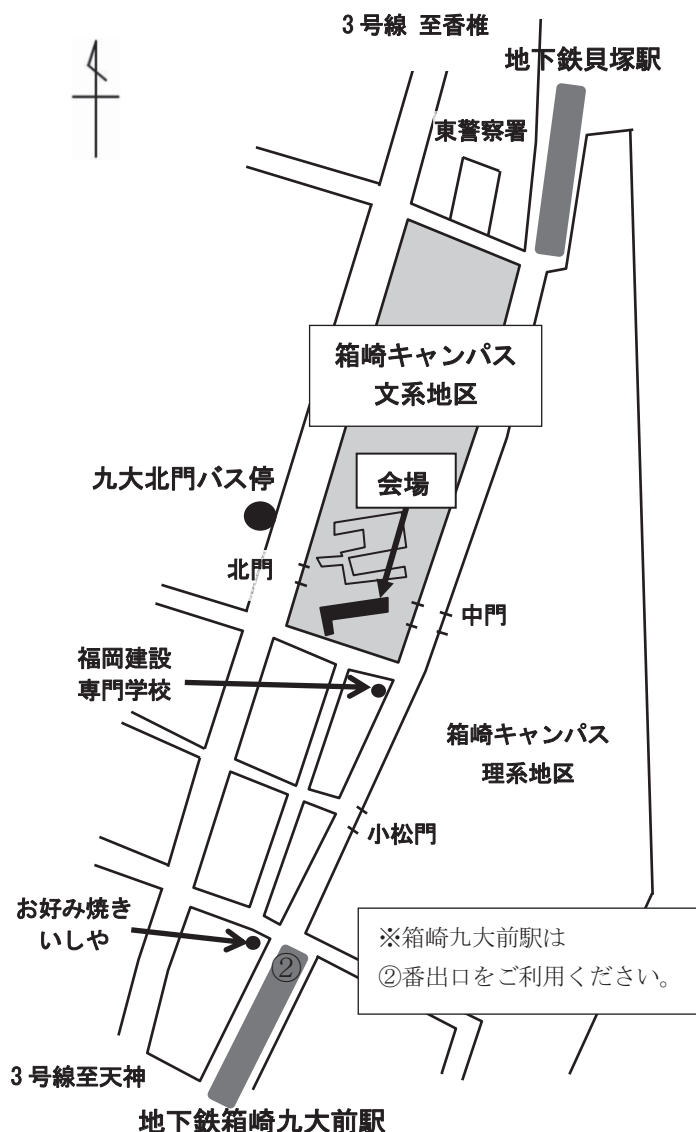
共通講義棟 (206号室)	[P-1] 高山 林太郎 東村山市方言の複合動詞のアクセント
	[P-2] FREGUJA Fulvio 日本語とアイヌ語の受動構文に見られる働きかけの種類に関する一考察
	[P-3] 呉 守鎮, 堀江 薫 韓国語の文末形式「-kes-ita」の文法的意味の分化と分割可能性：文法化の観点から
	[P-4] 姚 碧玉 現代中国語の剰余否定と語彙の関係の再検討
	[P-5] ダン ティ ホンゴック ベトナム語における機能辞 <i>củ</i> の特徴と条件表現の関連性

会場へのアクセス

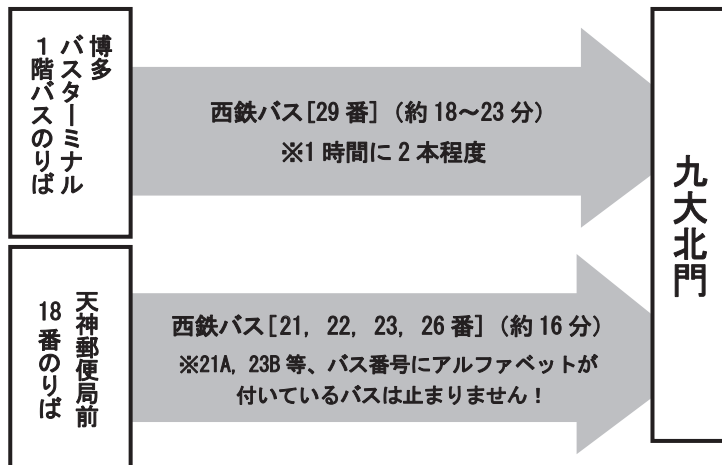
<交通アクセス（地下鉄）>



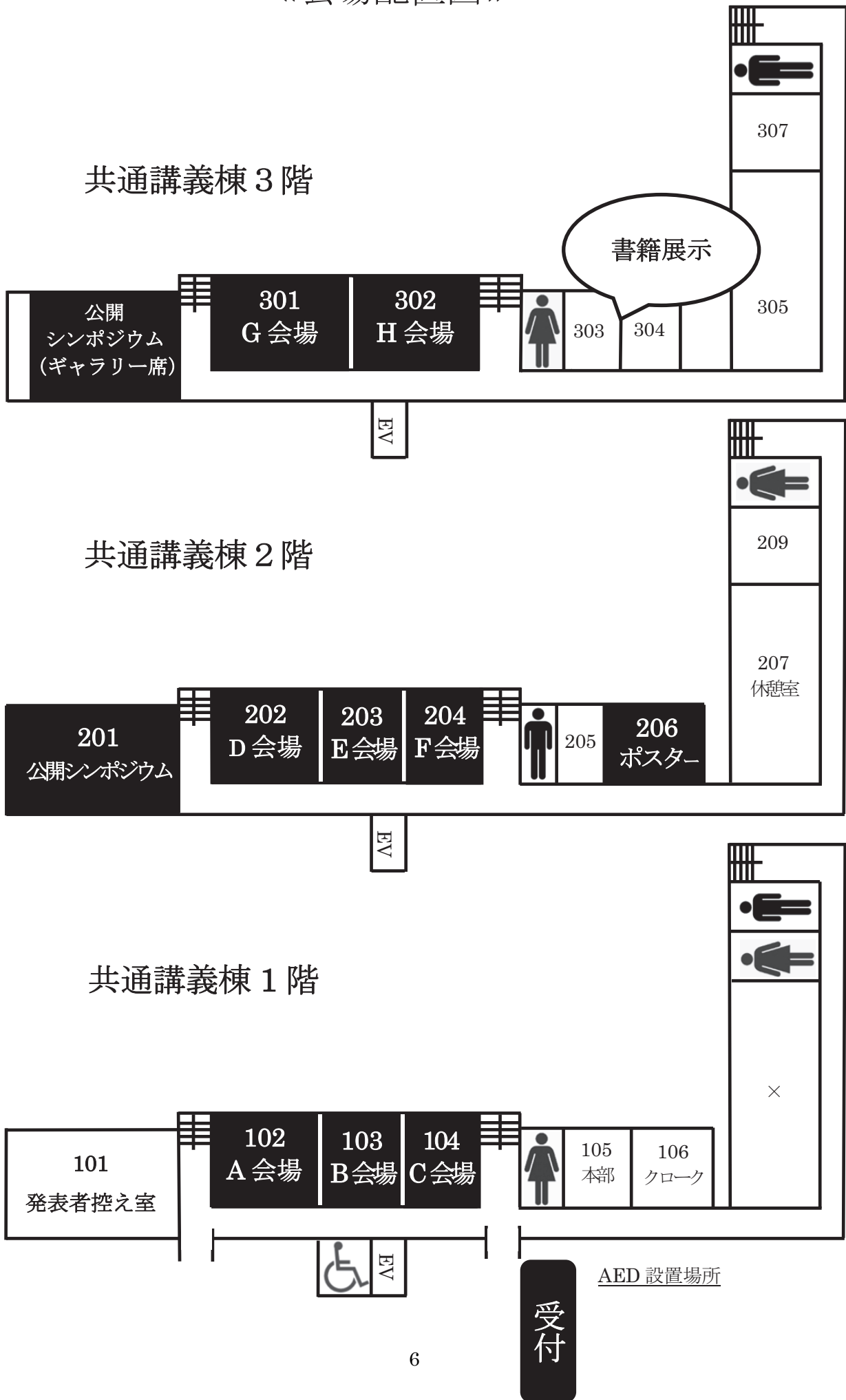
<九州大学箱崎キャンパス周辺地図>



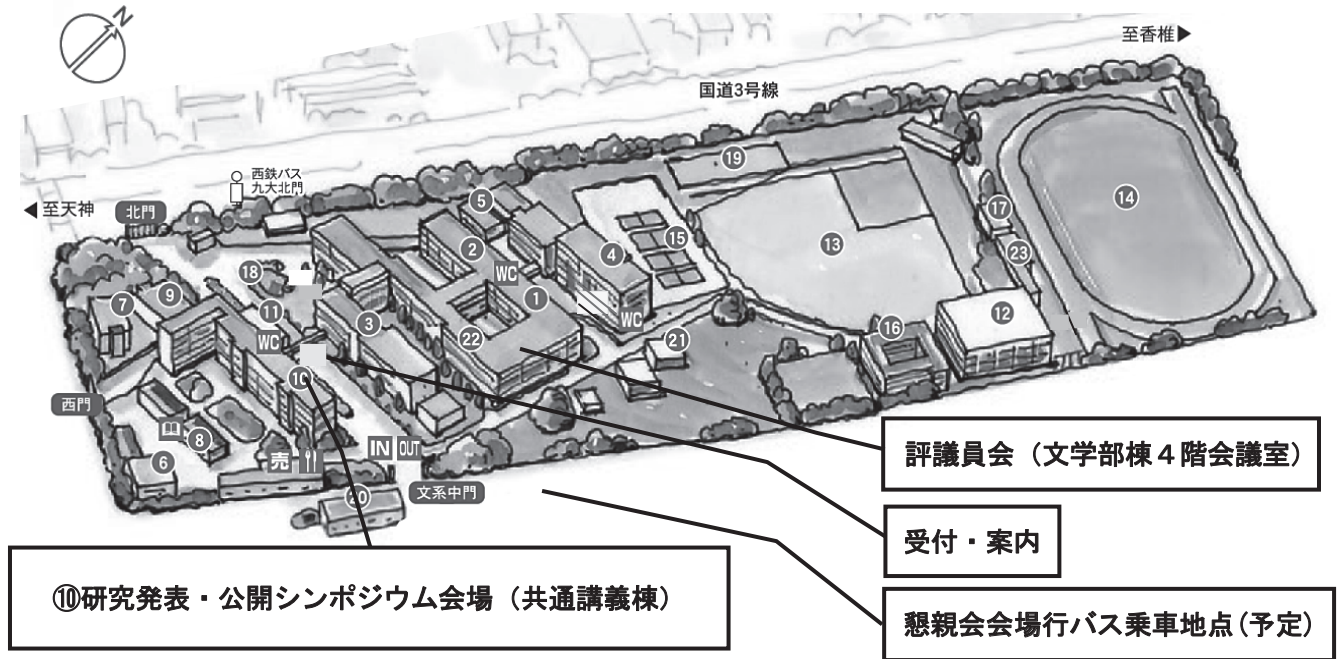
<交通アクセス（バス）>



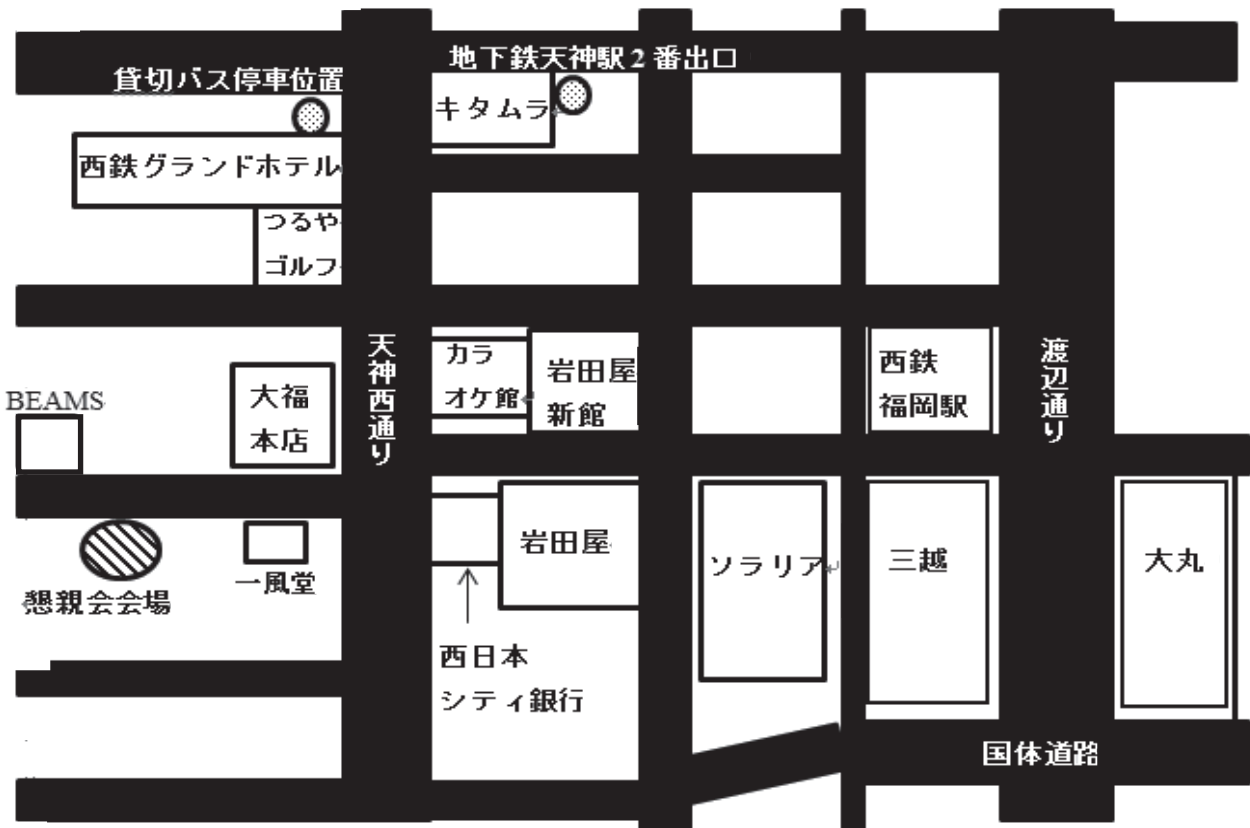
《会場配置図》



<九州大学箱崎キャンパス文系地区>



<懇親会会場への案内>



懇親会会場：R style (アールスタイル)

福岡市中央区大名 1-12-56 The Shops 2F 電話 050-5834-5174

建物の1FにはABC MARTがあります。懇親会会場のある通りは西日本シティ銀行の正面です。

<懇親会会場へのアクセス方法>

貸切バスにて (推奨)：貸切バスは西鉄グランドホテル付近に停車します。案内人に従って、天神西通りを通ってお越しください。大会会場からの乗車場所は中門付近を予定していますが、当日の案内にご注意下さい。

地下鉄にて：地下鉄天神駅2番出口が最寄の出口です。大会会場からの所要時間は40分程度です。

お知らせ

◆保育室の設置

本大会では保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**11月9日(金)**までに保育室担当宛にメールでお申し込み下さい。

- ・利用可能時間：11月24日(土)12:40-17:40 11月25日(日)9:30-17:00
- ・料金：お子様1人1時間につき500円

◆大会予稿集の販売について

大会予稿集は、大会当日に受付にて販売します(1部2,000円)。大会前の予約・購入は受け付けていません。

◆懇親会の申し込み

懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。参加費は、一般5,000円、学生3,000円を予定しています。

◆車椅子の利用について

ご利用希望の方は**11月16日(金)**までにお申し込み下さい。(申込先：E-mail：akinotaikai@gmail.com)

◆学内LANの利用について

ご利用希望の方は当日、受付にてお申し込み下さい。

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記し切手を貼った返信用封筒を同封の上、**11月2日(金)(必着)**までに学会事務支局までお申し込み下さい。

◆大会期間の昼食について

土曜・日曜とも大学の食堂は営業していません。日曜日のお弁当については、土曜日に予約券(500円)を発売します。大会受付にて14:00までにお求めください。

◆書籍展示

書籍展示は、共通講義棟3階303・304号室で行います。

◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。(配布物は当日受付にご持参下さい。)

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

大会予稿集および『言語研究』のバックナンバー購入をご希望の方は、「号、購入部数、送付先」を明記の上、学会事務支局までお申し込み下さい。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金下さい。

また、今大会の予稿集も、残部がある場合購入していただくことが可能です(送料込みで1部2,500円)。

※在庫情報は学会ホームページをご覧ください。学会事務支局までご連絡下さい。

次回大会予告(2013年春季大会：第146回大会)

場 所：茨城大学(水戸キャンパス) (〒310-8512 水戸市文京2-1-1)

日 程：6月15日(土) 口頭発表

6月16日(日) 公開シンポジウム、ワークショップ、ポスター発表

研究発表募集：

- ・学会ホームページから発表申し込みができます。

※応募要領は学会ホームページをご覧ください。

- ・発表応募締め切り **2013年3月20日(水・祝)(必着)**

- ・採否通知 **4月中旬**

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacos.com